

平成 26 年度 柏崎市刈羽郡学校教育研究会生徒指導研究部 活動報告

部長 金子 明子 内郷小学校

1 研究主題

「豊かな心と社会性を育む生徒指導のあり方」
～小中一貫で「いじめ見逃しゼロ県民運動」の推進を通して～

2 研究の概要

研究主題を受け、今年度の重点事項を以下の 3 点として研究を推進した。

- 道徳教育の充実
- 子どもの居場所づくり
- 生徒指導体制の充実

3 研究の実際

(1) 学校教育研究会生徒指導研究部としての主な取組

① 柏崎刈羽地区小・中学校生徒指導担当者会議 (5/23) 会場：柏崎市立第二中学校

平成 26 年度の研修・事業計画等について、実務に携わる生活指導主任・生徒指導主事が集まって審議した。管内の少年補導・交通事故の現状や傾向、その要因等について、柏崎警察署からご講演をいただいた。さらに、「いじめ防止対策推進法」施行に伴う「柏崎市いじめ防止基本方針」作成の予定と各学校が作成するための「学校いじめ防止基本方針」モデル案作成委員会の実施、及び今後の予定について柏崎市教育委員会の生徒指導担当主事からご講演をいただいた。その後、生活のきまり等、担当者間の情報交換を行った。

(2) 柏崎市刈羽村教育委員会と連携した取組

① さわやか学校プロジェクト (9/9) 会場：柏崎市民プラザ

柏崎市教育委員会と柏崎市刈羽郡学校教育研究会生徒指導研究部が共催で、不登校の発生を減らす取組について協議する場として実施した。愛宕中学校校長の吉澤 克彦様から、「不登校ゼロへの挑戦～新たな不登校を抑制する校内システムと初期対応～」と題したご講演をいただいた。経験に基づいた事例を含めて、大変分かり易く効果的なご指導をいただいた。その後、各校の不登校への取組と課題について KJ 法を使い、グループ協議した。

② 「小中一貫教育・柏崎方式」による中学校区を単位とした生徒指導の取組

市内 7 中学校区がそれぞれ、豊かな人間性や社会性を育む小中一貫教育について、具体的な取組内容を協議し合った。特に、学力向上の基盤としての生徒指導を大切にし、互いに認め合い支え合う人間関係構築の活動や一人一人をいかす取組について活動を推進した。併せて、「いじめ見逃しゼロスクール」を各中学校区で創意工夫して開催し、児童生徒が中心となったいじめ根絶活動の推進に取り組むことができた。

(3) 柏崎市教育委員会と連携した取組

① 「学校いじめ防止基本方針」モデル案作成委員会

6/25 (水) 打ち合わせ会 内容 趣旨説明、モデル案作成手順審議

7/29 (火) 第 1 回会議 内容 趣旨説明、モデル案作成手順説明

10/30 (木) 第 2 回会議 内容 モデル案審議 モデル案決定

4 成果と課題

今年度は、柏崎市刈羽村教育委員会と連携し「柏崎市いじめ防止基本方針」及び「学校いじめ防止方針」作成に向けた取組を中心に行ってきた。また、新たな不登校をなくす取組の講演を実施することができた。結果として、市全体の問題行動や不登校傾向児童・生徒の減少を実現させている。その要因としては、各校・各中学校区が目的を共有し、全職員で児童生徒に豊かな人間性と社会性を育む生徒指導を進めてきた成果だと考えられる。今後も、中学校区を中心に成果や課題を共有し、有意義な活動を進めていきたい。